

学校経営ビジョン

「目標に向かって主体的に行動する人間性豊かな生徒の育成」

目標に向かって自分自身を律することができ（自律）、思いやりや感謝の気持ちをもって（感謝）、将来社会に貢献する（貢献）生徒の育成を図る。

生徒も教師も展開のキーワード「自律」「感謝」「貢献」を常に意識して行動し、中学校卒業時の最終目標である「自立」に向けて取り組みます。

学力の向上

I 学業指導の徹底を継続していきます。

- 1 授業開始1分前着席、チャイム黙想を徹底していきます。
- 2 細野中より始まった「立腰」の姿勢を守り、授業への集中を高めます。
- 3 「はい」という返事、挙手の姿勢、そして大きな声での発表を心がけさせます。
（繰り返し強い指導）
- 4 授業に必要なものの準備、忘れ物0を目指す支援を行います。

II 授業での指導力向上を図ります。

- 1 生徒の分かった・できたという感覚を大切にする「分かる授業」を展開します。
（1単位時間の授業そして生徒の学ぶ意欲を大切にしていきます）
- 2 生徒一人一人の理解度を確認しながら、個別指導の充実を図ります。
- 3 授業の質的改善に向け、職員相互また小学校との十分な連携を図ります。
- 4 学校図書を効果的に活用し、読書によるより高い「学び」を目指します。

III キャリア教育の充実を図ります。

- 1 生徒がこれから生きていく Society 5.0 で実現する社会に向けて、自分の将来について考えていく授業を展開します。
- 2 自己開示を通して他者理解・自己理解を深め、思考を整理していくために対話的な学びの充実を図ります。

生徒指導の充実

I 生徒と向き合う時間を大切にします。

- 1 学年主任を中心に学年職員が連携し、生徒に寄り添いつつ、表情の変化を確認し、一人一人の声に耳を傾けます。
- 2 生徒の様々な状況は全職員で共通理解し、全員で支援・指導できる体制づくりに努めます。
- 3 授業をはじめ様々な活動の場で、生徒一人一人が活躍できる場を与え、生徒の自己存在感を高めます。（一人一人が輝きを放つための指導と支援）
- 4 教育相談の機会を積極的に設定し、生徒の悩みを聴く場を持ちます。

II 毅然とした指導と規範意識の醸成を図ります。

- 1 いじめ防止とその追放に向け、絶対に許されることのない行為であることを意識させ、毅然とした指導を行います。（生徒指導部と生徒会がタイアップします）
- 2 学校の規則については、職員で共通理解し、生徒や保護者に向け説明するとともに段階的な指導を行います。（生徒理解の上での指導を心がけます）
- 3 生徒会活動の充実を図り、思いやりの心を育てながら、地域に貢献する活動を継続していきます。（委員会活動や部活動による朝の清掃やあいさつ運動、奉仕活動等の充実）

家庭（保護者）・地域・専門機関との連携 「Win-Win」の関係づくり

保護者・地域・専門機関との連携を図りながら開かれた学校づくりに取り組みます。

- 1 教師と保護者の間に生徒をおき、双方向から支援・指導していく形を目指します。そのために、保護者の声には真摯に耳を傾け、お互いによりよい支援・指導の方向を探っていきます。
（生徒への特別な指導内容やケガ等については、その日のうちに連絡します）
- 2 チーム学校としての意識を、保護者にもお願いするとともに、生徒・教師・保護者が三位一体となって、地域とともに歩む教育（開かれた学校づくり）を目指します。また、小学校との連携を強化し、小中一貫教育の推進に努めます。（細野地区のよりよい子どもづくりへ）
- 3 保護者・地域・専門機関と連携した防災教育、メディアコントロール（スマホやゲーム）、ピアサポートプログラムを推進します。